

初秋 東日本交流合宿

人を避けていては、益々人と関わりづらくなる

実施説明会：9月6日 午前10～11時 於：事務局教室

旅 程

9月19日

6時45分、事務局に集合。

7時、ハイエース・グランドキャビン（NPO 法人日本インターネットスクール協会-JISO-所有車, 10人乗り）で出発。

11時、用賀PAで東京都世田谷区のH君（中2）と合流。

12時、常磐道・守谷SAで、東京都足立区のYS君（中3）と合流、昼食。福島原発事故で帰宅困難地区になった浪江町、南相馬市を車中から見学。死の街だった。車中で、参加者交流会。チームビルディング研修でアイスブレイク。

18時半、岩沼市利休で、牛タン定食他の夕食。皆、牛タンの厚さと大きさにビックリする。

19時半、南三陸町ひころの里の宿舎着。江戸時代の庄屋の大屋敷を利用した宿。その雰囲気たっぷりの宿でした。

23時、就寝

9月20日

7時半、朝食。

9時半、南三陸の入谷祭参加。参加者4名、地元の人たちに誘われ、伝統の踊りに飛び入り参加する。

11時から南三陸・気仙沼・陸前高田の現状を見学。みんな、今も残るその悲惨な惨状に、声も出ない。

途中、気仙沼食堂で、昼食。

18時、夕食。参加者交流会。再びチームビルディング研修。

22時、就寝。その後、スタッフ会議で次の日の活動と参加者の対応を確認する。

9月21日

7時半、朝食。全員で宿周辺の草取りを手伝う。

9時、さんさん商店街で土産の買い物。南三陸町の中学3年生、AS君と合流。

11時、ひころの里で、手打ちそば作り体験と昼食。初めてにしてはみんな上手に打ち、指導してくれたおばさんに褒められるが、一人水の量を間違え、ベチャベチャに。しかし、おばさんの指導で見事に回復した。

13時半からAS君の協力で、3時間に及ぶ地元のスンプラリーに参加。一同、大いに楽しんだ。その後、みんなで買い物にも行く。

18時半、夕食。交流会で、スンプラリーの話で盛り上がる。自然な流れで震災のみなら

ず、不登校の話に及ぶ。大川小学校の件、当時先生方が状況を見極め判断した結論（北上川沿いの高台に避難）は正しい。死後にその是非を問うべきではない、と言う元消防隊長のS氏の意見に皆、考えさせられる。また、どうして学校に行けないのか率直に問われ、言葉に窮する中学2年生に、今の気持ちをそのまま聴かせてと、中学3年生。人と関わりづらいのは、その経験が少ないから。だから、それを避けていては、益々人と関わりづらくなるよ、と。同じ世代の仲間たちと共に成長する姿を垣間見る。

23 時頃から一人、また一人と寝に部屋に行く。深夜に及んだため、スタッフ会議も翌日の活動の確認だけで、みんな床に就く。

9月22日

7時半、朝食。

8時半、宿舎出発。気仙沼のNPO法人オールランドヘリコプター（ARH）の第2ヘリポートへ。

10時半～11時半、ヘリコプター乗船体験。空から大震災の爪痕を観る。



気仙沼のこけし食堂で昼食。

12時56分気仙沼駅で、BRT（陸上電車）で還るAS君を見送る。「AS君、ありがとう！」

15時半、出発。東北自動車道で帰路。栃木県に入り大渋滞に巻き込まれ、一般道に回避するもそこも大渋滞。ナビ頼りに、更に抜け道を突っ走る。

20時半、宇都宮駅前、宇都宮餃子「健太」着。30分並んで、ようやく宇都宮餃子の夕食。

23時45分、東北自動車道・蓮田SAで、YS君と別れる。

翌日23日0時半、東名・港北SAでH君と別れる。

3時半、静岡市内のY君と別れる。

4時過ぎ、事務局着、解散。

10月、参加した不登校だった中学生は学校に復帰した。

参加者 9名（静岡・東京）＋南三陸町の中学3年生1名